

保護者説明会での主な質問、意見、要望等のまとめ

1 説明内容

多摩市立学校の一定規模及び適正配置等に関する審議会（第3期）の検討状況について

2 開催状況

■ 保護者説明会

日 時	平成21年11月 7日(土) 11:00~12:50
場 所	西愛宕小学校 特別活動室
参加者数	26名
発言者数	7名
感想回答者数	22名

日 時	平成21年11月12日(木) 18:00~19:10
場 所	東愛宕小学校 SCR室
参加者数	21名
発言者数	7名
感想回答者数	9名

3 説明会における主な質問・意見・要望等

1 東・西愛宕小を統合することについて

①一定規模の確保と統合

[会場] 東愛宕小学校

(1) 東・西愛宕小を統合すると、複数学級になる可能性はあるのか。

⇒現時点の推計では、学年によるが複数学級と単学級と両方できる。

(2) 統合するにしても、2クラスにすることを目標にしてもらいたい。学校選択制は、2クラスあるかないかが決め手になっている。人数が少なくてもいいので、2クラスほしい。

[会場] 西愛宕小学校

(1) 東・西愛宕小は統合しても、それほど子どもの数は増えない。また統合され、6年間の間に落ち着かない状況が繰り返されるのか不安がある。

(2) 単学級はあるべきでなく複数学級にすべきとする、法的なものがあるのか。

⇒法的枠組みはないが、小学校は各学年複数学級とするのが教委の考えである。

(3) 東・西愛宕小の統合では一定規模にはならないが、これについてどう考えているのか。

⇒魅力ある学校づくりを進めることで、この地域を選んでもらい複数学級を確保できるよう、教委も対応策を考えていきたい。

(4) 基本方針では複数学級を確保するとあるが、あえて例外を認めて統合する場合、適正配置の意義は何なのか。また、基本方針で一定規模・適正配置のための具体的な2つの方法をあげておきながら、これではできないので愛宕地区に例外を認めるのはおかしい。

⇒基本方針は全市的な基準であり、具体的な地区の見直しにあたっては、審議会を立ち上げ関係者が入り、どうしたら子どもたちのためになるかを考えるものと思っている。

(5) 少子化で統廃合をする状況もわかるし、公立の小学校がどの子にもある程度公平・平等な機会を与えることは理解しているつもりだ。その中で一定規模の指針をつくることも大事なことだ。

(6) 審議会は形式上、統廃合を進めているが、今いる東・西愛宕小の子どもたちのことを本当に考えて統廃合を進めているのか。教委はどう考えているのか。

⇒ある程度複数学級が確保できると、子どもたちの人間関係や学校の活気が生まれる。

(7) 東・西愛宕が審議中であることは公表されているので、新しく入る人はその学校を選ぶことに勇気がある。

(8) 東・西愛宕小の統廃合だけを進めていくと、推計値よりもっと児童数が減っていく可能性が高い。また統廃合を考えるようになって思えてならない。

(9) 子どもたちは学校に思いがある。政策的に他の学校に移すことを何度も行うことは、子どもたちへのダメージもある。

(10) 一定規模にも適正配置にもならない、審議会がそれでもいいから統合と答申をした場合、教委は特例を設けて統合とするのか。

⇒審議会は子どもたちのためにより良い方法がないか、魅力ある教育環境はどうしたらいいかを考えている。そのような観点から審議会を見守ってもらいたい。

(11) 教委を始め、審議会の方向性は統合ありきで進んでいることに疑念を持っている。充実した学校教育のためには、単学級がダメだとする理論がわからない。

⇒教委としては、人間関係が発展し学校の活性化につながる一定規模を目指している。

(12) 充実した学校教育が目標と言うが、その充実の意味は補助金や施設の効率化等、行政側のご都合主義の気がする。

(13) 東・西愛宕小を統合しても、子どもの数が増えるだけ。今と何が変わるのか。

⇒例えば複数担任制ができないかという提案を頂いている。ピアティーチャーも手厚く配置できるのではないかと思う。

- (14) 何が良くて東・西愛宕小を統廃合するか、根本的なところが分からない。今、人数が少なくてもクラスを分けて教えている学科もある。
- (15) 統合反対といっても、ただ統合したくないのではなく、それが子どもにとって本当に良いことなのかと考えている。単学級のまま統合することの意味がわからない。
- (16) 統合による変化は親も子も負担となる。今の状況で、より良い教育はできないのか。もう一度立ち戻れないか。
⇒過去の統合の事例をみると、統合は負担となるが統合して良かったと聞いている。
- (17) 単学級のデメリットは感じられず、複数学級にならなければメリットは感じない。

②魅力ある学校づくり

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 東愛宕小を選んだ理由として、通級学級があることも含まれていた。統合新校が西愛宕小になると、2ヶ所に通うことになり、負担になるのではないか。
⇒使用する学校に通級学級を設置する形になると思う。
- (2) 40人学級は絶対なのか。例えば、20人で2クラスとか融通することは難しいのか。
⇒複数担任制、低学年(1・2年生)の人的配置はぜひやっていきたいと思っている。
- (3) 複数担任は低学年だけでなく、高学年も必要と保護者は思うだろうが、どう考えているのか。
⇒ピアティーチャーの配置を引き続き充実して配置していく考え方を持っている。
- (4) 統合した場合、ピアティーチャーに加え、市で独自に退職した教員を入れるという話があったが、本当にやってもらえるのか。
⇒実現できるよう、一生懸命やっていくという決意を持って頑張っていきたい。
- (5) 複数担任制で2人教員を補充する場合、1・2年生のどちらかが複数学級であれば、3年生を複数担任にすることは可能か。
⇒どういう形で人的配置を厚くするかは、校長に相談したい。
- (6) 統廃合の場合、正規の教員が1名加配されるとのことだが、養護教諭が加配されるのか。
⇒養護教諭以外にも可能。新しい校長先生の判断となる。
- (7) よほど良い学校をつくらないと、他の学区から来るとは考えられない。他の学区から来てもらうために、どれだけ魅力のある学校をつくることのできるか伺いたい。
⇒教委としても、最大限の努力をして魅力ある学校づくりをしていきたい。
- (8) より良い学校をつくるには予算も使うだろうし、他の市立の学校と格差が生じ、平等とならなくなるのではないか。
⇒審議会から魅力ある学校をつくったらいいいのでは、との提案があるので、教委としてもこの地域は支援をしていく必要があると思っている。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 魅力ある学校づくりのための事例も、今の環境より魅力があると思えない。
- (2) 低学年を中心とする複数担任制については、今でもピアティーチャーがついて、算数はクラスを分けて十分やってもらっている。
- (3) 固定学級を新設しても、今の子どもたちにメリットは感じられない。
- (4) キッザニアの学校版施設については、他の学校に比べてお金がかかることだと思う。
- (5) 学校の改修や通学路の安全整備等、特例として予算を愛宕の学校だけに限ることは現実的に可能なのか。
⇒統合が実現した場合、様々な予算措置をして学校を支援していきたい。

③通学上の安全確保

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 統合の話が出て一番思うのは安全。スクールバスを運行してくれるなら、安全なので統合してもいいと思う。安全が確保できる客観的な提案があればいいと思う。
- (2) スクールバスにはならないと思いながらも、市が試してみてもいいと思っている。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 統合されると通学路も変わる。どうやって通学していくか不安がある。

2 統合年度について

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 統合しても複数学級にならないのに、23年度統合で進めるのはおかしい。二小の学区変更をして、複数学級になる可能性のある25年度統合が考えられないか。
⇒ 教委は23年度又は24年度と考えているが、審議会からこの年度が良いとする答申が出てくれば尊重する。

3 統合新校の位置について

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 統合する場合、どちらの学校を使うか決まっているのか。
⇒ 基本方針の適正配置の考え方で決まっていくものと思う。

4 統合を基本として、二小の通学区域の一部を検討対象とすることについて

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 小学校6年間でいろんな子どもと触れ合っしてほしいが、二小も参加しないと統合の意味がないと思う。
- (2) 二小の凍結の気持ちもわからなくはないが、それは大人目線である。子どもの気持ちになって考えたら、教委で学区変更します、くらいの強いことをしないと何も始まらない。二小の意見を聞いていたら進まない気がする。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 現時点での審議会は、二小が凍結を希望しているため凍結でいい、良い学校をつくって人が来てもらえばいいとする駄作的な感じがする。もう少し練ることができないのか。納得がいかない。
- (2) 二小の学区変更が凍結の上での統合は、親も子も負担なだけ。何のメリットも感じられない。

5 審議会・説明会等について

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 審議会の位置付けは何か。審議の結果が統廃合に反映されるのか、審議会の効果は。審議会が最終決定機関であれば、どういう経緯で統廃合が最終的に決められるのか。
- ⇒
・行政が意思決定する際、審議会に調査・研究を依頼し、示された考え方を尊重して行政を進めていく。
・答申は最大限尊重していく。
・審議会はこれまで多数決をできるだけ避ける形で、合意形成に努めて結論を出してきている。
- (2) 今の審議会の進め方は疑問。基本方針により行うのであればやむを得ないが、適正配置の基準には触れていない。
- ⇒基本方針をどのようにあてはめるかは、審議会で結論を出すものと思っている。
- (3) 答申期限の12月28日までに何をどうやって決めるのか。1月末までに就学通知を送付することだが、その時点で決まっていないと、そのままを載せることになるのか。
- ⇒
・これから審議会で決めていく。
・答申が一つにまとまるか予測できないが、出されれば就学通知に付けてお知らせする。
- (4) 就学通知には答申の結果をそのまま載せるのか、教委の判断を加えたものを出すのか。
- ⇒審議会が一致して結論を出した場合は、その方向で教委も考えられる。様々な意見がある場合は、教委で方針を決定し、考えを添えて出すことになると思う。
- (5) 審議会以西愛宕小の保護者代表から統廃合は反対との意見が出たら、答申に載るのか。
- ⇒今後の審議次第。
- (6) 審議会の委員（13人）の意見が割れた場合、多数決によって答申期限までに結論が出るのか。
- ⇒十分議論した上で結論が出されると思っている。
- (7) 西愛宕小の保護者代表は、本校保護者の意見を持って審議会に出ているが、保護者の意見は反映されない形で答申が出る可能性があるのか。
- ⇒西愛宕小保護者代表の意見もきちんと受け止めて、どうすべきかを審議することになると思う。
- (8) 審議会は答申期限の12月28日までにあと何回あるのか。
- ⇒11月にあと1回、12月に2回を予定している。
- (9) 両校の保護者は、今後自分の子どもをどの学校に通わせるか考えている。私たちに対してメリットのある、進んだ話が聞きたい。
- (10) 統合ありきで話が進んでいることが、不安で仕方がない。
- (11) 仮に統合があった場合、新設校でなく他の学校に転入することは可能か。大多数が他の学校に移動したいと希望しても、対応してもらえるのか。
- ⇒過去の統合と同様、柔軟な対応をしていきたいと思っているが、希望される学校の施設規模を考えると、今は断言できない。

4 説明会実施後の感想（自由記載方式）

1 東・西愛宕小を統合することについて

①一定規模の確保と統合

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 複数学級にして多くの子どもたちと接してほしい、子どもの立場になって考えてほしい。
- (2) 複数学級ができないなら統合する意味はないと思う。1クラス40人になれば学力が低下するのは間違いない。
- (3) ぜひ複数学級にしてほしい。そうなれば、もう少し児童数（新1年）も増えてくると思う。
- (4) 統合しても同じなら統合しないほうが・・・
- (5) 統合する学校の学区を合わせるだけでなく、市全体で学区の見直しをしなければ、全学校複数学級は望めないと思う。その際、学区境付近の住民には選択受入不可の学校へも通学できるような、特別措置を設けてほしい。
- (6) 統合しても複数学級にならず、二小の通学区域を変えたくないということならば、東・西愛宕小ともに廃校にして、二小と三小に別れたらどうか。一人一人の意見を聞いていてもきりがないし、進まない。
- (7) 平等に小学校生活を送らせてほしい。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 説明会の方向性はわかったが、統合しても複数学級にならないのであれば、統合の意味はない。
- (2) 統合された時点で複数学級になることを目指してほしい。単学級のままの統合は納得できない。
- (3) これから入学させる親であれば、選択制を利用して他の学校に行くことは間違いないと思った。ますます児童数が減少していくことは必須。在校生でも三小を選べれば行く人が多いと思う。
- (4) 統合するのであれば、複数学級になることが前提であってほしい。
- (5) 東・西愛宕小だけの統合をした場合、また次の統合校の対象となる気がする。
- (6) 一定規模に満たない統合は、今後愛宕地区にメリットがあるのかと思った。
- (7) 将来、再度統合になる不安も感じた。自由学区だから、ますます児童数が減っていく不安も感じた。
- (8) 東・西愛宕小を統合しても、一定規模が見込めず今後も増える可能性が少ないのに、急いで統合する必要はあるのか疑問。
- (9) 二小の学区変更も含め、児童数が確保できるという前提で統合を進めていかないと、両校の合意は得られないと感じた。
- (10) 東・西愛宕小のみの統合をするメリットは何も感じられない。
- (11) 子どものための統合ならば、6年間にもう一度統合があるかもしれないという不安のまま通うのは問題ではないか。
- (12) 今、西愛宕小は児童数は少ないが、本当に充実している。単学級で児童数だけが増えることが、今より良くなるとは考えられない。
- (13) 最初の説明と異なる、一定規模にならない統合はとても疑問。
- (14) 統合しても選択制を利用し、今後また児童が減っていくのでは。そうすると、再度統合となるのではと不安。
- (15) 審議会が一定規模の考え方を最初から考えずに進めていることに疑問を感じる。単に東・西愛宕小の統合だけをゴールにした進め方に憤りを感じる。
- (16) 子どもは西愛宕小が大好き、単学級のデメリットは感じない。子どものためと言うなら、今の環境を残してほしい。
- (17) 大人数の学校の保護者からも、いじめや先生との絆がない等の悩みを聞いたりする。
- (18) 審議会では小規模校はダメだという話になっているが、本日の説明会ではダメとは言っていないと言っており、矛盾している。
- (19) 現在の学校で不自由は感じていないし、子どもも毎日楽しく通学している。何のための統合という感が拭えない。

- (20) 今後、子どもたちにとって良い状況になることが前提の統合だと思う。今後も過程を見守りたい。
- (21) 少子化は国全体の問題であり、仕方ない情勢とは思いますが、子どもたち、親にとって極力負担の少ない変化にとどめてほしい。
- (22) 母校がなくなる寂しさを子どもたちにはさせたくない。
- (23) 東・西愛宕小はそれぞれ全くカラーが違う。一緒になるのがこわい。
- (24) 小規模校がだめだとは言っていないと言うが、ではなぜ統合を進めるのか。子どもを第一に考えているのではなく、市の経費節減のためとしか思えない。
- (25) 東・西愛宕小のみの統合は凍結すべき。
- (26) 子どもの立場になって考えると、東・西愛宕小をただ統合するのはいかがかと思う。
- (27) 児童推計は愛宕地区の児童が三小に流出しないことが前提となっているのでは。その数値に意味があるのか。

②魅力ある学校づくり

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 特別支援学級（固定学級）の設置は賛成。
- (2) 統合にあたって、どのくらい実現できるかが重要だと思う。「魅力ある学校づくり」のほとんどが実現できるよう願いたい。
- (3) 通級学級のことも具体的に話してほしい。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 多摩市立の学校はあまり魅力的に思えない。ぜひ魅力ある学校づくりをお願いしたい。
- (2) 教委は新校が良い学校になるため、覚悟をもってやるということだが、どの程度の覚悟なのか。答申が通らず、ゴメンナサイでは済まされない。
- (3) 市の財政状況が厳しい中、人的配置にどれほど力を入れてもらえるか疑問。

③通学上の安全確保

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 子どもたちのこと（通学路のこと等）を考えてほしい。
- (2) 統合によって学校の位置が変わる場合、子どもの負担は大変なもの。スクールバスの手配等、最大限の配慮をしてほしい。

2 統合年度について

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 23年度統合は時間的に無理だと思う。子どものことを考えるなら、長期的な目線で考えたほうが良いと思う。

3 統合新校の位置について

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 校舎をどちらにするかについては、在校生の父兄の中では東愛宕小を使用し、西愛宕小が廃校と言っている人がいる。
- (2) どちらの学校を使用することになっても、保護者が納得できる理由付けをお願いしたい。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 西愛宕小は審議会において人数が少ないため、多数決ではけっして勝てないと思う。
- (2) 子どもも西愛宕小が好き、学校が変わると不登校になる可能性もあると思う。

4 統合を基本として、二小の通学区域の一部を検討対象とすることについて

[会場] 東愛宕小学校

- (1) 二小の学区変更凍結との話があったが、やはり二小の学区から児童を確保しなくては難しいと思う。強制ではなく一定の年限を設けて、二小学区の一部に基本は愛宕の学校、希望すれば二小へも行けるゾーンをつくったらどうか。
- (2) 二小の協力が必要。学区の見直しをお願いしたい。
- (3) 二小の学区を変更しても複数学級にできないならば、統合する必要はないと思う。二小は凍結の状態なので、一緒に考えてもらいたい。
- (4) 東・西愛宕小の統合に加え、二小の学区を変更するなら良いと思う。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 選択制があるので、二小の学区を変更してもよいのでは。どうしても二小に行きたい人は二小を選べばよいのだから。
- (2) 二小・竜小の審議会のとき、既に東・西愛宕小の統合の話も出ていたのだから、そのとき学区変更があり得ることを言っておけばよかったと思う。
- (3) 二小の通学区域をもっと狭くして東・西愛宕小に分ければ、3校の児童数も平均化する気がする。
- (4) 二小の学区変更も含め、児童数が確保できるという前提で統合を進めていかないと、両校の合意は得られないと感じた。

5 審議会・説明会等について

[会場] 東愛宕小学校

- (1) これまでも統合の話があり、現在まで何も進展していない理由があるはずだと思うが、その説明がされていない。
- (2) 学校のクラスの現状も悪いので、変えてもらいたい。学習ができる環境にしてほしい。
- (3) とても気にかけていたことなので、説明会をしていただいて良かった。
- (4) 説明の内容が全体（在籍）のことなので、夜ではなく昼間の時間帯に行うべき。
- (5) もう少し中身が具体的になってから説明会をしてもよいのではないか。
- (6) 本日の説明会は統合中止に関する説明会と聞いた。

[会場] 西愛宕小学校

- (1) 通学区域の見直しは、市全体として考えて進めていってほしい。
- (2) 審議会の方向性が見えない。当事者が担当校各1人の委員構成では重責。審議に反映されているのか。
- (3) 審議会の進捗状況からは、東・西愛宕小全ての子どものことを考えて審議が進められていると思えない。
- (4) 審議途中の段階での説明会ではなく、最初から保護者を交えての話し合いができていればよかった。
- (5) 統合に話を持っていかせる方向で話を押し付けているように見えた。私たちの意見が通るか不安、結局審議会の力が強いと思った。
- (6) 良い案がたくさん出ているのに、これまでの経過で何一つ反映されていないのは、教委で既に決定されているからではないか。
- (7) 審議会も教委も、当事者の保護者や子どもたちを無視して進めないでほしい。
- (8) 審議会では、西愛宕小代表の委員が統合に反対しても、多数決で賛成が多かったら統合されてしまうのか。